

- 日本国憲法
- 教育基本法
- 学校教育法
- その他の関係法令

●有識者検討会論点整理(2024年8月)

●「質の高い教師の確保」中教審答申(2024年)

●文科省から中教審へ諮問(2024年12月)

●改定北海道総合教育大綱(2025年4月)

●OECD教育2030プロジェクト(2015年)

◆3つのコンピテンシー

- ・新たな価値を創造する力〔創造〕
- ・対立やジレンマを克服する力〔尊重〕
- ・責任ある行動をとる力〔自律〕

●現行学習指導要領(2017年)

「VUCA」の時代(不安定、不確実、複雑、曖昧)

●「学校の働き方改革」
中教審答申(2019年)

●GIGAスクール構想(2019年)

●「令和の日本型学校教育」
中教審答申(2021年)

●デジタル庁設置(2021年)

●1人1台端末整備(2021年)

●CSTI「政策パッケージ」(2022年)

●こども家庭庁設置(2023年)

●新たな教育振興基本計画(2023-2027年)

- ◆計画のコンセプト
- ・2040年以降の社会を見据えた持続可能な社会の創り手の育成
- ・日本社会に根差したウェルビーイングの向上

●北海道教育推進計画(2023-2027年)

- ◆基本理念 ◆22の施策
- 「自立」「共生」／・SDGs=EDSの推進等

●上川まなびのフォーカス

～伸ばす・守る・支える～

●旭川市いじめ防止条例(2023年)

●旭川市いじめ防止基本方針

●旭川市教育基本計画

- ふるさと旭川から未来へはばたく子どもの育成
- ・自ら考え、仲間とともに学ぶ子ども
- ・自分と仲間を愛し、心豊かな子ども
- ・心身ともにしなやかでたくましい子ども

●小中連携「北門中学校区の中期目標」

自ら学ぶ意欲を身に付けた子どもの育成

●学校力向上総合実践事業の成果(～2024年終了)

- 重点目標を実現する教育活動・取組 ◆見方
- ★数値目標:R6学校評価現状値⇒目標値
- キーワード、具体的な取組



学校の教育目標

夢を描き 未来を拓く 子ども

令和3年3月25日改定

★「これから」の教育

〔〇〇観の転換〕×〔これまでの教育実践〕

～「流行」と「不易」のベストミックス～

重点教育目標

自ら学び 他者と協働する 子どもの育成

合い言葉

感じて動く 考えて動く

目指す姿

学校像

子ども像

授業像

教職員像

- 〇共生社会の実現を目指す教育を推進する学校
- 〇子どもの心理的な安全を確保する学校
- 〇校内外の教育力を結集・分担し、質の高い教育を推進する学校
- 〇保護者・地域から信頼される学校

- 〇目標へ向けて、粘り強く学ぶ子
- 〇自分で考え、判断し、行動する子
- 〇多様な他者を尊重し、より良い考えを生み出す子

- 〇全員参加の授業
- 〇子どもが自ら見通しを立て、進んで考える授業
- 〇対話を通して自己を高める授業
- 〇学びの成果を振り返り、次への意欲を高める授業
- 〇「わかる-できる喜び」がある授業

- 〇指導性を発揮し、必要な資質・能力を確実に育む教師
- 〇多様な子ども一人一人の可能性を引き出す教師
- 〇心理的な安全を確保し、切磋琢磨する教職員
- 〇当事者意識をもって学校改革を推進する教職員

経営の重点

- 1 授業改革の推進と学級経営の充実
- 2 あらゆる教育活動の前提となる安全・安心の担保
- 3 一人一人にふさわしい学びの内容と場の充実
- 4 学校課題の適切な把握と迅速な対応

●教育DX(デジタルトランスフォーメーション)の推進 ～授業の手法と教職員の業務を变革～

●探究心を持ち、主体的に学ぶ「教職員研修」

★組織的・計画的な研修 96P⇒100P

□全体研修〔授業研究-ICT等ミニ研修〕

□グループ研修〔学年-メンター研修〕

□今日的な課題等ニーズに応じた研修

□旭教研等の成果還元

●「いじめ」の未然防止-早期発見-早期対応

★温かい学級集団 94.5P⇒100P

★いじめを許さない 98.4P⇒100P

□思いやりの心と人権尊重の意識の醸成

□誰かの役に立っている実感がわく活躍の場

□道徳科を要とした道徳教育 □いじめ防止教室

□ふれあい活動 □迅速かつ組織的な対応

□旭川市いじめ防止条例の主体的な理解

□児童による主体的ないじめ防止の取組

●人として生き方の考えを深める「道徳教育」

★道徳性 87.1P⇒100P

<重点>①善悪の判断、自律、自由と責任

②相互理解、寛容 ③規則の尊重

□広い視野から多面的・多角的に考える□自他を尊重する態度を育む人権教育□よい点と成長の状況の積極的な評価□効果的な複数体制の指導や学年合同道徳

●問題解決を通して生き方を考える「そうごう」

★協力・課題解決 91.9P⇒100P

□探究的な学習と体験活動の質の向上

□知識・情報を自ら関連付ける学び

□SDGs・EDS(持続可能/多様性尊重-共生社会)

◎主体的-対話的で深い学びを実現する「授業改革」

～個別最適・協働的な学びの一体的な充実～

★自ら学ぶ 84.2P⇒100P ★基礎-基本85.8P⇒90P

★協力・課題解決 91.9P⇒100P

★効果的なICT活用 93.4P⇒100P

□資質・能力を明確にしたプロセス重視の単元デザイン

〔現実社会と学指の関連/教師規定と児童選択のバランス/個別と協働の往還/評価規準/つまづきへの支援〕

□一人一人に応じた指導や多様な他者と協働する場を設定した1時間の工夫〔柔軟な学習過程(学びの文脈づくり、思考の流れ、修得)/45分のタイムマネジメント〕

□これまでの実践とICTとのベストミックスで学びを深める工夫〔見方・考え方の発揮/振り返りの充実(キボード入力によるアウトプット)/多様な学び方/情報活用能力〕

□より良い人間関係と共生の作法による落ち着いた環境づくり □習熟度に応じた少人数指導や授業交換等の指導体制の工夫□自律を促す教員の適切な関与

●将来必要な資質・能力を着実に育む「教育課程」

★不断の検証改善 100P⇒継続

□授業時数の適正な管理・運用□記録の累積と更新〔学習評価/単元テスト/全国学調-NRT分析/目指す授業像/授業評価/カリ・マネ(教科等横断的他)〕

●自ら心身の健康を高める「健康教育-食育」

★健康な生活 90.1P⇒100P

★食を大切にす心 84.1P⇒90P□保健指導(自他の生命尊重)□健康相談(心身の健康) □安全・安心な給食

□食に関する指導 □養教・栄養連携による個別的な相談

●自己指導能力を高める「生徒指導」

★規範意識91.8P⇒100P ★自律91.8P⇒100P

□児童理解□自己実現□OODAループ予防的生徒指導□TPOに応じた行動(挨拶/言葉遣い/聴き方) □規範意識 □ネットトラブル/薬乱防止 □「言葉」の大切さ

◎ゆるやかなつながりを育む「学級経営」

★よりよい人間関係90.1P⇒100P

★自律91.8P⇒100P □実態把握□自己存在感

□共感的人間関係□自己決場の場□安全・安心な風土

●自発的・自治的な力を高め、自信を獲得する「児童会活動」・「行事」・「クラブ活動」

★自律91.8P⇒100P

□子どもが活躍できる場や機会の拡充 □子どもの創意を生かす運動会-学芸会-クラブ-異年齢交流

●社会的-職業的自立の基盤となる「キャリア教育」

★目標へ向けた努力85.6P⇒90P

□他者につながる/自分を認め、磨く/課題を発見・解決する/自らが歩むキャリアを決める

□キャリアパスポートの工夫□成長の振り返り(全教科)

●人生を豊かにする自主的・自発的な「読書活動」

★読書活動の充実73.8P⇒80P

□学校図書館の利活用(授業-司書教諭-学校司書-図書委員会の創意工夫) □カタコト(読み聞かせ)

●家庭との連携による「望ましい習慣づくり」

★家庭学習(学年×10+10)分以上55.4P⇒70P

□自主学習と宿題のねらいの明確化□生活リズムハラスメント□「スライト」30□早寝-早起き-朝ご飯□ヤングケアラー支援

◎教育的ニーズに応じた「特別支援教育」

★個別の指導計画と全校体制96P⇒100P

□実態把握□合理的配慮の具体的追究□個別的教育支援計画及び個別の指導計画の有効活用

□校内委員会の機能化□自立活動の充実□交流及び共同学習の充実□学びの内容と場の充実(サードプレイス)□チーム支援(医療-特支学校-福祉等)

★インクルーシブ教育システムの構築を目指して

◎組織的-計画的な「不登校児童」への支援

★積極的なアプローチ92P⇒100P

□安心感・充実感を得る楽しい教育活動□子ども主体の絆づくり□チームで兆しを見逃さない□保護者と定期連携□「児童理解・支援シート」(短-中期) □サードプレイス□Sカンセー□ゆっくらすや関係機関

●子ども自らの危険予測-危機対応力を育む「安全・安心な教育環境」

★安全教育の充実92.6P⇒100P

□命を守るアロハ(挨拶-廊下歩行-話をしっかり聴く) □交通安全・情報モラル教室 □避難訓練

□の工夫□お迎え下校訓練□緊急時対応フローの確認・更新□マチコミ□安全計画の更新□研修

●短いスパンで繰り返す PDCA サイクル

★地域連携96.6P⇒100P

□学校HP-学級通信等□保護者-地域からの日常的な情報収集□自己評価及び学校関係者評価(年2回) □保護者アンケートへの即時的な回答

□有効な改善策

★近文っ子の実態 (R6学校評価)

〇思いやり 〇協力して課題解決

〇ICT活用 〇体力づくり

△基礎的-基本的な知識-技能

△自ら問いを見付け解決

△規範意識 △学習-生活習慣

★教育環境の整備-充実

財政的-物的資源の効果的活用

●変化にしなやかに対応する学年-分掌組織

□自立-自走□リダーシップ □対話 □合意形成

□「One Week Early」で業務推進